

## 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立 旭 中学校  
校長 岩本 真琴

中学校区におけるめざす子ども像 「自ら課題を見つけ仲間とともに 未来を創り出す子ども」

### 令和7年度 重点目標

【組織目標】 チーム力を発揮し、家庭・地域・関係機関とともに子どもを育てる

【教育目標】 社会を生き抜く力の育成

【研究主題】 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ～自ら課題を見つけ意欲的に学ぶ生徒の育成を目指して～ 校内研修を通して研究主題を追求し、子どもたちの「社会を生き抜く力」の育成に取り組む

### 「確かな学び」の現状

基礎的な学習習慣や基礎的な学力を身につけている生徒の割合は高くなってきており、学校全体の総合的な学力は向上してきているが、「自ら課題を見つけ学習する」という主体的に学ぶ姿勢に少し課題がある。継続して生徒が主体的に学ぶことができる授業について研究を進めるとともに、ICT を積極的・効果的に活用した指導法の開発や個々の課題に応じた指導法の工夫改善に取り組む。

### 「豊かな心・健やかな体」の現状

違う考えを受け入れたり相手の気持ちを考えて行動したりできる生徒が多いが、様々な人種年代の方々との交流や様々な取り組みを通して多様性の理解を推進し、「豊かな心」の育成をめざす。生徒指導事案については、今後も関係諸機関と連携して継続し、きめ細やかな対応をしていく。不登校支援として step ルームを開設し、学びの場の確保に取り組む。また、運動習慣の確立や規則正しい生活習慣、食習慣の確立をめざし、家庭への啓発を続ける。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗状況	達成状況(年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	総合的な学力の育成	基礎・基本となる学力の定着 探究的な学びの推進	ICT を効果的に活用し、効率よくわかりやすい授業を行う。	「先生は効果的にICTを活用した授業をしている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年より増加	アンケート	年度末	◎	◎	ICTの活用では、「効果的な授業を行っている」の肯定的回答が8割であった。また「ほぼ毎日活用」では、昨年の3割から6割になり、ICTの活用により生徒が主体的に授業に取り組めるよう努めたい。 大阪府チャレンジテストの結果で、現3年生の平均は2年次は府平均-4であったが、3年次府平均-2であった。3年次では平均差が少なくなっており英語力の向上がみられる。	◎ ◎ △	・学習にしっかり取り組んでいるように思います。 ・ICTの活用率も上がってきており、効果的に使えるように指導をお願いします。
			●★外国語・外国語活動においてNS、ICTなどを最大限活用するとともに、アウトプットの機会を創出し、言語活動を充実させ、英語力の向上を目指す。	学力調査における平均正答率が経年比で昨年より増加	学力調査など	年度末	○	◎			
			★小中9年間を通じた「堺学」や教科横断的な学習で探究的な学習活動に取り組み、自ら課題を見つけ解決する力を育む。	「地域や社会に向けて自分にできることはないか考えることがある」肯定的回答80%以上	アンケート	年度末	△	△			
	授業改善	「主体的・対話的で深い学び」による能動的学習の推進	●生徒の学びを深められるように、月1回の授業改善のための教員研修を実施し、すべての子どもが主体的に学びに向かうよう、授業改善に取り組む。	「授業はよくわかる」と回答する生徒の割合が経年比で昨年より増加	アンケート	年度末	◎	◎	「授業がよくわかる」と肯定的な回答が8割であり、生徒たちが主体的に学んでいることがわかる。英語教育実践研究校として対話的な言語活動に取り組み、公開授業を行った。また8割の生徒が「授業がよくわかる」と肯定的な回答であった。	◎ ◎	「授業がよくわかる」と肯定的な回答の割合が高く、授業改善の成果が表れているように思います。生徒たちが自分の意見を積極的に伝えることができる指導をお願いします。
●生徒が自分の考えを表現したり発表したり、他者の発表を聞けるように工夫・改善した授業を行う。			公開授業の実施 肯定率各57%以上	アンケート	年度末	○	◎				
豊かな心・健やかな体	心の教育・夢の実現	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する	●★学校群で小中の教員が連携を密にし、生徒の情報共有や生徒理解を深め、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図る。	学期ごとのアンケートで「いじめはいけない」と回答する生徒の割合の向上	アンケート	毎学期	○	○	最終アンケートで95%の生徒が、「いじめはよくない」と回答している。小学校や保護者とも連携し、情報共有と生徒理解、課題の早期発見につなげた。 9割の生徒が「相手の行動を考えて行動している」と回答。 多様性の理解については、これからも必要だと感じている。 「将来の夢を持っている」は、昨年の75.3%に対し、77.4%と微増であった。生徒が主体的に自らの進路を考えることができるよう、キャリア教育を充実させる。	○ ○ ○	・「いじめはよくない」と思っている生徒が多く、安心しました。いじめかからないよう、引き続き取り組んでください。 ・生徒たちが夢を抱けるように、引き続きキャリア教育をお願いします。
			特別支援教育、国際理解教育、道徳教育等の充実に努め、多様性の理解を推進するとともに豊かな人権感覚を育む教育を推進する。	アンケートで「相手の気持ちやその場の状況を考えて行動する」と回答する生徒の割合が80%以上	アンケート	年度末	○	○			
			キャリア教育を充実させ、生徒が自らの将来について展望をもって進路選択が出来るようにする。	「将来の夢や希望を持っている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年より増加	アンケート	年度末	○	○			
地域連携	信頼される学校づくり	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩むチーム学校づくりを進める	学校HP、teturu等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。またオープンスクール等で積極的に学校の様子を公開する。	アンケートで「学校での様子がよくわかる」と回答する割合が80%以上	アンケート	年度末	○	△	「学校の様子がわかる」との回答は6割であった。引き続き、HP、オープンスクールなどで学校の様子を公開する。 クリーンキャンペーンや花いっぱい運動により地域との交流を行った。1年生の「堺学」では、堺を知る取組をおこなった。引き続き、堺について知る機会をもち、地域とともにある学校をめざす。	△ ◎	・学校行事を見せていただく機会があり、学校の様子がよくわかります。 ・オープンスクールなど授業の様子を見る機会を設けてください。 ・地域と一緒に継続してクリーンキャンペーンを実施しているのは大変良いことだと思います。
			地域人材を積極的に活用したり、地域の活動を生徒が知る機会を増やしたりする。	地域との交流を年2回以上行い、生徒が地域のことを知る機会を増やす。	実施状況	年度末	△	◎			

### 校長より(年度末)

生徒たちは授業や学校行事にも積極的に取り組む姿勢が見られます。様々な課題もあり指導が必要な場合もありますが、一人ひとりに寄り添った適切な指導と支援を継続していきます。授業改善や生活指導の取り組みには一定の成果が認められましたが、学校と家庭の連携や児童生徒へのきめ細かな支援は、今後さらに力を注ぐべき課題です。次年度の教育活動に生かし、児童生徒が安心して学べる学校づくりに努めてまいります。

学校関係者評価者から(年度末) 授業や行事など、生徒たちが積極的に取り組んでいることに感謝しています。生徒にとって安心・安全で、楽しく学びやすい学校づくりを引き続きよろしくをお願いします。